

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回福津市環境審議会	
開催日時	令和6年3月22日(金) 午後1時30分～	
開催場所	福津市役所 別館大ホール	
委員名	出席委員 鈴木 慎也会長・豊貞 佳奈子副会長・栗田 喜久委員・藤田 裕美子委員・早瀬 百合子委員・藤井 美智子委員・清水 佳香委員・中尾 恭子委員・大庭 也寸志委員 欠席委員 都島 直來委員	
所管課職員職氏名	うみがめ課長 芹野 眞里子 資源リサイクル係長 藤野 孝太 清掃対策係長 高山 大樹 環境づくり係長 権現 陽子 環境づくり係 中村 千聖	
会    議	議 題 (内 容)	報告議案 ・議案第1号 福津市ごみ処理基本計画の中間見直しについて ・議案第2号 福津市生活排水処理基本計画の中間見直しについて
	公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	-
	傍聴者の数	1名
	資料の名称	・次第 ・第2次福津市一般廃棄物処理基本計画(中間見直し)案 ・第2次福津市一般廃棄物処理基本計画
会議録の作成方針	録音テープを使用した要点記録	
その他の必要事項		

審議内容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1. 開会のことば

都島委員の欠席報告

2. 会長挨拶

3. 資料確認

4. 会議録確認

鈴木会長 福津市附属機関の会議の公開に関する要綱第9条第2項の規定により、会議録確認を豊貞副会長に依頼。

5. 委員会成立宣言

鈴木会長 委員10名のうち9名出席。福津市環境基本条例第22条第2項の規定により、本日の委員会が成立。

6. 会議公開の了承確認

傍聴1名

7. 審議

事務局 議案第1号について説明  
福津市ごみ処理基本計画の中間見直しについて

鈴木会長 質問やご意見はありますか。

大庭委員 他の都市圏と比較して、1日あたりのごみ総排出量は妥当なのか。

事務局 全国・福岡の実績と比較して、妥当である。

中尾委員 今後人口が増えていくにつれてごみの総排出量も増える。一人あたりのごみ排出量の目標は堅持する予定なのか。

事務局 ごみの総排出量は人口が増えていくにしたがって、増えていくというのが通常。しかし、1人あたりのごみ排出量は、1人が1日どのくらい出すかという話になるので、総排出量に比例するわけではない。

清水委員 19ページの表ですが、「家庭系ごみと事業系ごみの割合」となっているが、内容は実績値ではないか。

事務局	修正します。
清水委員	43 ページの製品プラスチックリサイクルに関しては今のところ協議しながらと書いているが、その方向性はあるのか。
事務局	今の古賀清掃工場の規模では製品プラを受け入れることが難しいため、工場が変わるタイミングで受け入れる可能性があるのではないかと話し合っている。
鈴木会長	19ページ表の3-3-4人口は増加傾向だが家庭系ごみは変わらない。古紙古布が激減しているということを読み取る必要がある。行政回収でないルートに流れているという見方をしたらいいのか。注意深く動向を見極めて解釈するべき。
事務局	紙に関しては今は民間の回収ルートが多くあるが、もし燃料の高騰等でなくなれば、市として市民から集める方法を考えていかなければならない。
鈴木会長	16 ページの表で平成 30 年と令和 4 年度では団体数が変わらないのに回収量が激減している。インターネットの普及により、新聞の購読も減ってきている。集団回収が今後危うい状況なのかどうか、仮に集団回収を中断して拠点回収に変えられるのかというのがポイントになると思う。
事務局	自治会未加入問題、高齢化問題などがあり、地域分別ステーションをどう維持していくのかというところに苦慮している。
早瀬委員	福津市は 1 人当たりのごみ排出量が少なく、十分取り組んでいる先行事例となる。今の回収システムだと今後持続可能な体制づくりは難しくなるため、市民にとっても無理のないような方法を検討してほしい。
豊貞委員	生ごみ処理機の補助金を出し始めたのはいつからか。乾燥式の処理機は電力消費量が多いため、環境面ではよくないのでは。
事務局	廃止は平成29年だが、いつからというのは分からない。電気で乾燥させるのは逆にエネルギーを使うので、効率的ではないというのは聞いた。
藤田委員	地域分別では細かく分けるように言われるが、先日古賀清掃工場に直接捨ててに行った際に、「まとめて入れてください」

	と言われ、分別の精度が違った。直接エコロの森に捨てる方が楽だが、粗大ゴミのシールを購入して捨てる人がいるのか。
事務局	自宅まで取りに来てくれて楽になったという声もある。市の想定以上にチケット利用が多い状況。
中尾委員	福津市の分別品目は多いのか、多いからゴミが減っているのか。
事務局	福津市では14品目で分別している。古賀清掃工場が対応できる品目数。ゴミには資源ごみも含まれ、分別することによりリサイクル率が上がる。
鈴木会長	39ページの目標値848gは家庭系と事業系ごみの合算値で、それぞれの数値目標は掲げずに、トータルで維持していこうという目標。
採択：全員一致で承認	
事務局	議案第2号 生活排水処理計画の中間見直しについて
鈴木会長	質問や意見はありますか。
豊貞委員	目標値は非水洗化人口を減らしていく試算なのか。何か補助金はあるのか。
事務局	水洗化奨励金や合併処理浄化槽補助金がある。
豊貞副会長	100%下水道を目指している市町村もたくさんある。福津市は合併浄化槽を残していく方向なのか。
事務局	全市が公共下水道の計画区域整備対象範囲であれば、100%というのはあり得るが、福津市では全市域を網羅する計画にはなっていないため、公共下水と合併浄化槽の地域とで区分けがされている。
鈴木会長	59ページ表7-8では非水洗化人口も合併処理浄化槽も令和5年から令和10年で減っているが、これは公共下水道につなげる想定か。
事務局	はい。

早瀬委員 非水洗化と合併処理浄化槽の両方でやっていくとのことだったが、シフトのさせ方の最適化が大事。何年スパンでどのくらいの人口が動いてというデータは他自治体の参考になると思う。

鈴木会長 下水道普及率をとにかくあげればよいという価値観とは変わってきている。合併処理浄化槽重点導入地域のようなものがこれからは重要になってくる。災害時の想定も必要になってくる。

採択：全員一致で承認

事務局 その他の報告  
・ゼロカーボンシティ福津ロゴマークの決定について  
・小学校理科の教科書に福津市の海岸清掃の様子掲載

栗田委員 うみがめ課で津屋崎の入江の清掃をしていただいたのは、プラスチックを食べるカニにとっていいこと。ただし、大きな流木まで片づけられると、そこについている巻貝など希少な絶滅危惧種の住処がなくなるので置いておいてほしい。

8. うみがめ課長挨拶

9. 閉会宣言